

No.26 生涯活躍のまちづくり事業 （企画政策課）

令和元年度にめざした姿(目的)

地域の課題を解決するための人材を誘致し、移住者だけでなく地元住民にとっても暮らしやすいまちづくりを進めます。

令和元年度にめざした成果

- ・地域の空き家を活用し、移住者受入を行います。
- ・移住者が自治会に加入し、地域活動に積極的に参加するようコーディネートします。

令和元年度にめざした活動(主な取組み)

- ・都市部からの移住者に対し、その方の経験や人脈を活かせる活躍フィールドを提供するとともに、必要な医療・介護を継続的に受けられる体制を整備します。
- ・町内の空き家を地域資源ととらえ、移住者向けの居住場所として活用し、地域の課題を解決する人材の誘致につなげます。

令和元年度の成果

- ・これまで24戸の空き家を移住者向けに提供しています。
- ・移住した方が地域の空き家に居住し、自治会活動や地域活性化に寄与する事例もできています。

令和元年度の問題

- ・移住者を呼び込むために必要な住まいが不足しています。原因としては借上げ可能な空き家が少ないことがあげられます。

令和2年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

なんぶ里山デザイン機構や地域振興協議会などの関係機関との連携を強化し、空き家情報等の情報収集を強化します。

(2) 解決すべき問題への方策

新たな宅地を供給し、新築住宅の建設を促進します。

(3) 新たに取り組む方策

移住ではなく地域に継続的に関わる関係人口の拡大を進めることで、地域の担い手の確保や交流人口増加による地域活性化に繋がります。